



若者のみなさん、選挙に行こう

投票率アップ 20代が鍵

選挙権が18歳まで広がってからの衆院選の投票率が22日に迫ってきた。若者の政治参加をどう促すかが課題となる中、実際に投票率の低さが際だっているのは、10代よりも20代だ。昨年の参院選で20、24歳の3人に2人が棄権、この層が投票率向上の鍵となる。若いみなさん、投票に行きませんか？



「仕事があった」「政治や候補者の違いがわからない」「インターネットを活用すれば、短時間で候補者や政党のことが分かる」と、選挙区全体は54・70%で、年齢別の抽出調査では20、24歳は33・21%、25、29歳が37・91%

「忙しければ期日前投票も可能だ。明るい選挙推進協会によると、衆院選の年代別投票率は、20代が1969年から16回連続で最下位。参院選も、記録が残っていない89年以降、すべて最下位となっている。昨年の参院選で見ると、選挙区全体は54・70%で、年齢別の抽出調査

と低調な結果となった。18歳選挙権実現を求めたNPO法人Rights代表理事の高橋亮平さんは、「こうした傾向の原因を「日本では学校運営や地域づくりの中で、生徒や住民の意見が反映されることが少ない。自分たちの行動による成功体験が不足している」と指摘する。教育評論家の尾木直樹さんは「初めて投票をした若者は、主権者としての自覚が芽生え、社会に対する感覚が鋭くなり、表情すら変わってくる」とした上で「今まで興味なかったテレビの選挙特番も面白く感じるようになるはず。まずは1票を投じて」と話した。

①一番投票率が低い年齢層を書きましょう。

[]

②選挙を棄権した人の理由を書きましょう。

[]

③小木さんの話を読み、あなたが感じたことを書きましょう。

[]

年 組 名前